生きる

菊池市立菊池北中学校　学校だより　No.25
2026.11.13　文責　岩谷　寛

がむしゃらなのが
“Say春♪”



耳に聴こえるメロディは美しい
耳に聴こえないメロディはもっと美しい

――歌声の奥底にある“心”の響きを――



菊心祭の日の午後は合唱コンクール。クラスによっては一生懸命がんばることで、なかま同士が衝突し、涙を流す場面も見られます。大変なんだろうけど、そんな光景を毎年見るたびに思います。“いいなぁ～”って…。ひとつの目標に向かっていく中で様々な問題に直面し、苦しみながらもクラス全員でのりこえていく。これまで、そんな子どもたちの姿を、時には一番近い場所で、また時には少し離れた場所から見守ってきました。今年もどの学年も「金賞とるぞ～!!」と気合い十分です。楽しいだけでは本物の思い出にはなりません。“ゆず”の曲「ひだまり」の詩です…

R8合唱コンクール
11月21日(土)13:40～
全学年　課題曲『涙そうそう』
1年生　自由曲『大切なもの』
2年生　自由曲『14-fourteen-』
3年生　自由曲『群青』

『がむしゃらに生きているってことが、それはきっと青春って言うんじゃないかな♪♪』

達成感というのは、全力で取り組んでこそ生まれるものです。“今”こそ衝突すべきです。何度も想定してきて見えた景色です。衝突するとずくきついです。無責任な言い方に聞こえるかもしれませんが、そんな困難から逃げずに立ち向かったクラスは強いです。自分勝手な人が見えてきます。無気力な人、めんどくさそうにしている人、うるさい人が見えてきます。頑張ろうとしている人が見えてきます。そんな人を支えようとする人、大きな声で指示している人が見えてきます。

あなたはどんな合唱を目指しますか？あなたはどんな学級を目指しますか？

勝ちたい!!って強い思いは歌声を時々じゃましたりするけれど、“感情”はやっぱり大事です。私はこう思います。目指すのは“金賞”じゃない。“ひとつになる”ことです。“聴こえないメロディ”というのは、“私たちの歌を聴いてほしい”という願いを意味していると思うのです。“歌いたい”と思う心が豊かなメロディうになると思うのです。そのために“今”ぶつかるのです。

…昨年の学校だよりでも書きましたが…
私が聴きたい北中の子どもたちの合唱は、
青春ドラマのワンシーンのようなキラキラ☆☆した合唱です♪♪

衝突を恐れるな!!
闘志の火は消えていません!

～駅伝大会を終えた子どもたちの“今”…～

10月16日に行われた中体連駅伝大会から1ヶ月が経ちました。大会の結果は、男子が11位、女子が10位。大規模校がひしめく菊池郡市の大会で上位入賞を果たすのはそう簡単なことではありませんが、陸上部も存在しない中で、北中の子どもたちは本当によく頑張ってくれました。男女ともに一桁順位は目前！にせる大健闘でした。





あれから1ヶ月…朝の菊心台の様子は、右の写真の通りです。

よほど悔しかったのでしょう。来年こそは!!と思ったのでしょう。駅伝大会を終えた翌日にはこの光景を目にしました。長い教職生活においても初めて見る子どもの姿でした。改めて北中の子どもたちのたくましさ、純粋さを感じました。嬉しくて涙が出そうです。走る子どもの中には、3年生の姿もありました。受験とのりこえるための精神修養！本当にすごいことです。

来年の駅伝大会が本当に楽しみです。小さな学校でも、努力をつみ重ねたら結果が出せる！ことを証明してくれるはずです。北中の子どもたちに“あっぱれ！”。